

現代日本の農山漁村における親密圏の変容と再創造に関する地域社会学的研究

— 東紀州地域の事例から —

江南 健志

(京都大学大学院文学研究科 博士後期課程)

大野 哲也

(京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程)

中川 千草

(関西学院大学大学院社会学研究科 研究員)

朝田 佳尚

(日本学術振興会 特別研究員)

森田 次朗

(京都大学大学院文学研究科 博士後期課程 / 日本学術振興会 特別研究員)

2010 年 1 月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: [intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp](mailto:intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp) URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

## アブストラクト

近年、過疎高齢化に伴い、農山漁村の姿は大きく変貌しつつある。こうしたなか、農山漁村における親密圏のあり方は、どのように変容しているだろうか。このような問題意識のもと、本ユニットは三重県東紀州地域でフィールドワークを実施した。具体的な事例としては、スポーツイベント、漁業、祭祀、防犯カメラ、住民参加型の学校制度を取りあげた。

結論としては、農山漁村で暮らす地域住民が、日常的な生活実践を通して能動的に親密圏を再構築していること、また、こうした諸実践が、外部社会（公共圏）との相互関係のなかで行われていることが明らかになった。以上のことから、地域住民による多様な実践の総体としてのコミュニティは、親密圏と公共圏が絡み合う動的な領域としてとらえるべきである、ということが示唆された。

キーワード：過疎高齢化、農山漁村、フィールドワーク、生活実践、親密圏の再構築

2008 年度次世代研究「現代日本の農山漁村における親密圏の変容と再創造に関する地域社会学的研究 ― 東紀州地域の事例から ―」（研究代表：江南健志）による成果である。

【メンバー】 () 内は 2008 年度プロジェクト時点

江南健志 (京都大学大学院文学研究科 博士後期課程)

大野哲也 (京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程)

中川千草 (関西学院大学大学院社会学研究科 研究員)

朝田佳尚 (京都大学大学院文学研究科 博士後期課程 / 日本学術振興会 特別研究員)

森田次朗 (京都大学大学院文学研究科 博士後期課程 / 日本学術振興会 特別研究員)